

令和 6 年度の農業信用保証保険業務の概況

令和 6 年 1 0 月 2 日

独立行政法人農林漁業信用基金

1. 保険引受（総論）

- 令和6年度の保証保険の保険引受額は6月末時点で690億円となり、対前年同期比▲21億円とやや減少（97.1%）した。
- 資金別にみると、農業運転資金が対前年同期比7億円減少（94.3%）したものの農業資金全体では対前年同期比9億円増加（102.0%）したほか、農業者の生活資金である農家生活改善資金が対前年同期比3億円増加（107.5%）するなど、多くの資金が対前年同期比で増加した一方で、農業者向けの農家住宅資金が太宗を占める農家経済安定施設資金が対前年同期比▲33億円と大幅に減少（82.5%）している。
- 公庫のセーフティネット資金については、対前年同期比▲107億円と半減（43.6%）しており、肥料及び飼料等の価格高騰に伴う一時的な減収等に伴う資金繰りニーズはある程度解消されつつあると思われる。

保険引受の状況

(単位：億円、%)

区分		R元	R2	R3	R4	R5	R5.6	R6.6	(対前年同期比)
農業資金	農業経営改善資金	832	725	722	711	669	137	140	101.8
	農業経営維持資金	27	28	17	31	8	0	0	417.0
	農業施設資金	1,246	1,210	1,077	1,052	1,026	214	229	106.9
	農業運転資金	867	971	926	1,004	961	131	124	94.3
計		2,971	2,934	2,743	2,798	2,664	483	492	102.0
農家経済安定施設資金		1,023	828	917	875	726	190	157	82.5
農家生活改善資金		186	165	142	137	158	38	41	107.5
保証保険計		4,180	3,927	3,802	3,810	3,548	711	690	97.1
融資保険計		11	5	-	5	7	-	-	-
合計		4,192	3,932	3,802	3,815	3,555	711	690	97.1

1-1参照

1-2参照

1-3参照

1-4参照

107億円減少
(対前年度比43.6%)

注1：農業経営改善資金とは、近代化、農業改良、青年等就農、公庫転貸、スーパーSの各資金をいう。

注2：農業経営維持資金とは、畜特、負担軽減、家畜疾病、家畜飼料、畜産経営維持緊急資金、畜産経営体質強化支援及び危機対応の各資金をいう。(以下同様)
(信用基金データより)

(参考) (株)日本政策金融公庫農林水産事業の融資実績

(単位：百万円、%)

	令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和5年6月		令和6年6月		
	件数	金額	件数	金額	対前年度比	件数	金額	対前年度比	件数	金額	対前年度比	件数	金額	対前年同期比	件数	金額	件数	金額	対前年同期比
農業	13,920	378,141	20,751	519,736	137.4	15,530	408,418	78.6	18,003	466,912	114.3	15,555	380,127	93.1	2,316	74,503	1,847	52,389	70.3
うちセーフティネット資金	829	14,004	8,144	174,739	1247.8	3,617	35,548	20.3	5,955	140,205	394.4	4,030	71,448	201.0	773	18,889	374	8,236	43.6

注1：速報値

注2：単位未満は四捨五入

((株)日本政策金融公庫農林水産事業融資実績等を基に信用基金作成)

1-1 農業経営改善資金

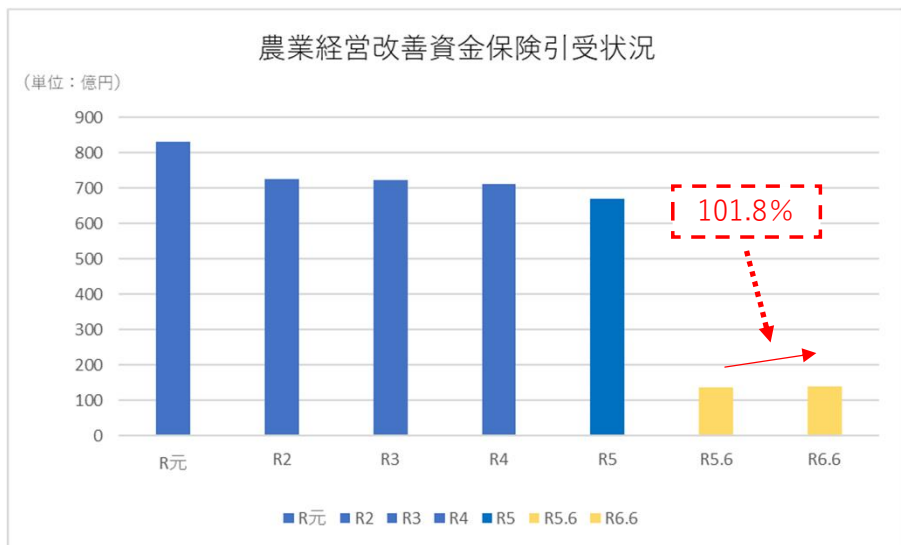
- 農業経営改善資金については、令和5年度は対前年度比94.1%と減少したが、令和6年6月末時点では、対前年同期比101.8%と前年を若干上回っている。
- この要因については、公庫転貸資金が毎年減少傾向にある中、農業近代化資金が対前年同期比108.4%と前年を1割程度上回ったことによると考えられ、その中でも、農業用施設や農機具等の資金用途に対する引受けが増加していることが大きく影響している。

農業経営改善資金保険引受状況

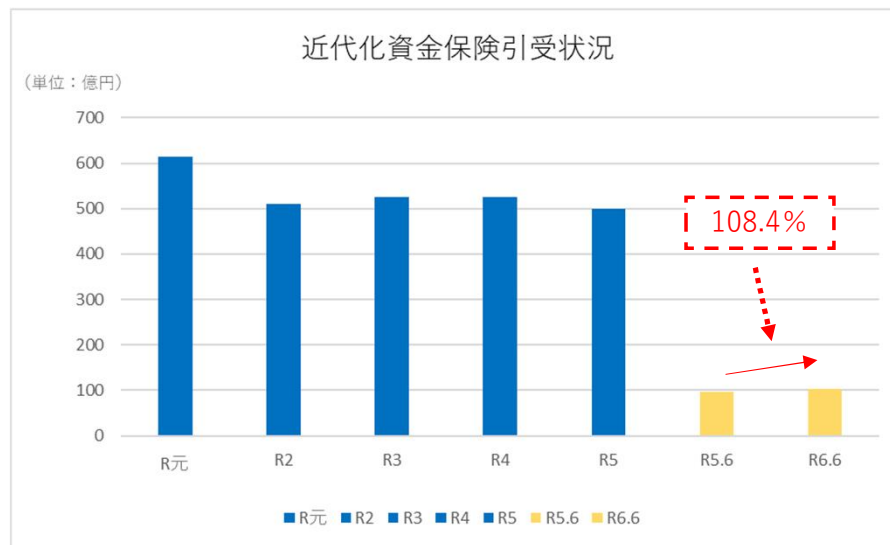
(単位：億円、%)

	R元	R2	R3	R4	R5	R5.6	R6.6	(対前年同期比)
農業経営改善資金	832	725	722	711	669	137	140	101.8
うち近代化資金	614	510	525	525	499	96	104	108.4
(うち構築物・農機具)	432	353	370	376	366	70	80	114.8
うち公庫資金	136	99	100	98	68	22	20	89.7

(信用基金データより)



(信用基金データより)

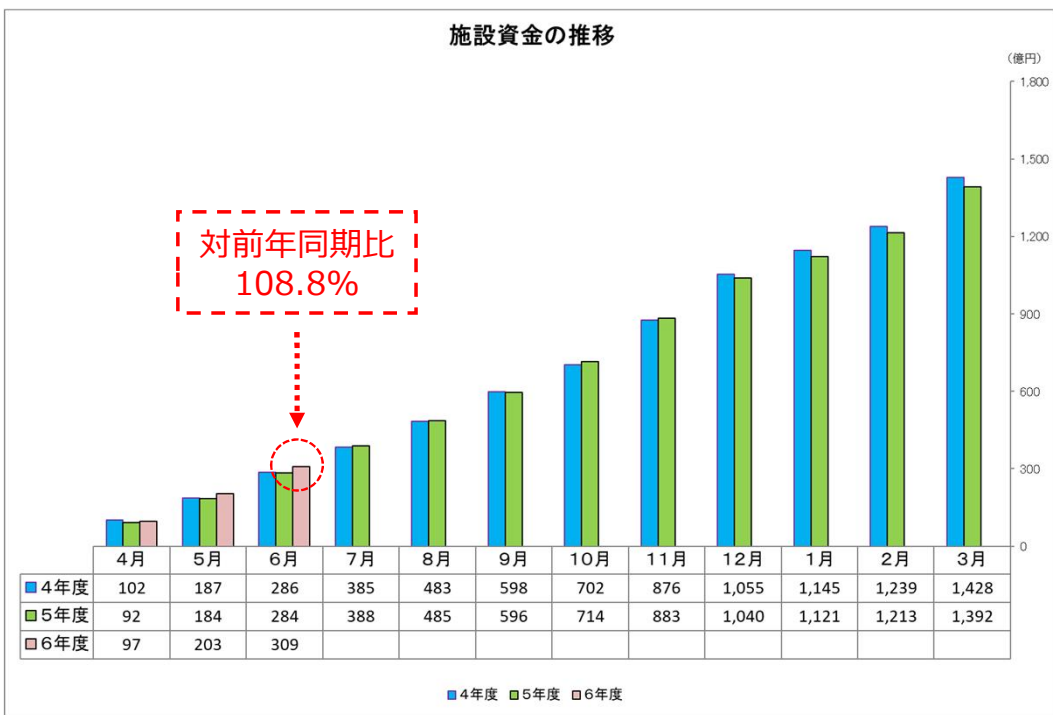


(信用基金データより)

1-2 農業施設資金の動向

- 施設資金（注1）については、令和5年度は対前年度比97.5%となるなど、ここ数年は引受実績が減少傾向にあったが、令和6年6月末時点では、対前年同期比108.8%と増加に転じている。
- 日本政策金融公庫の農業景況調査（令和6年1月調査）によると、設備投資予定ありと回答した農業者は、農業全体では令和6年度は48.9%となるなど、肉用牛を除きほぼすべての業種で令和5年度を上回っており、設備投資意欲の回復の兆しが表れていると推察される。

施設資金の推移



(信用基金データより)

注1：施設資金は、近代化資金（施設資金）、保険料率区分の農業施設資金（プロパー資金）の合計の引受額である。
 2：金額は、各年度の累積である。

設備投資予定ありの比率の推移 ※当初計画値 (単位：%)

	R4年	R5年	R6年
農業全体	46.3	45.0	48.9
酪農（北海道）	38.6	33.2	34.5
酪農（都府県）	44.6	32.3	41.8
肉用牛	48.6	40.4	37.9
養豚	51.2	45.6	56.9
稲作（北海道）	41.1	44.0	46.8
稲作（都府県）	49.1	51.7	54.4
施設野菜	38.2	37.8	46.6

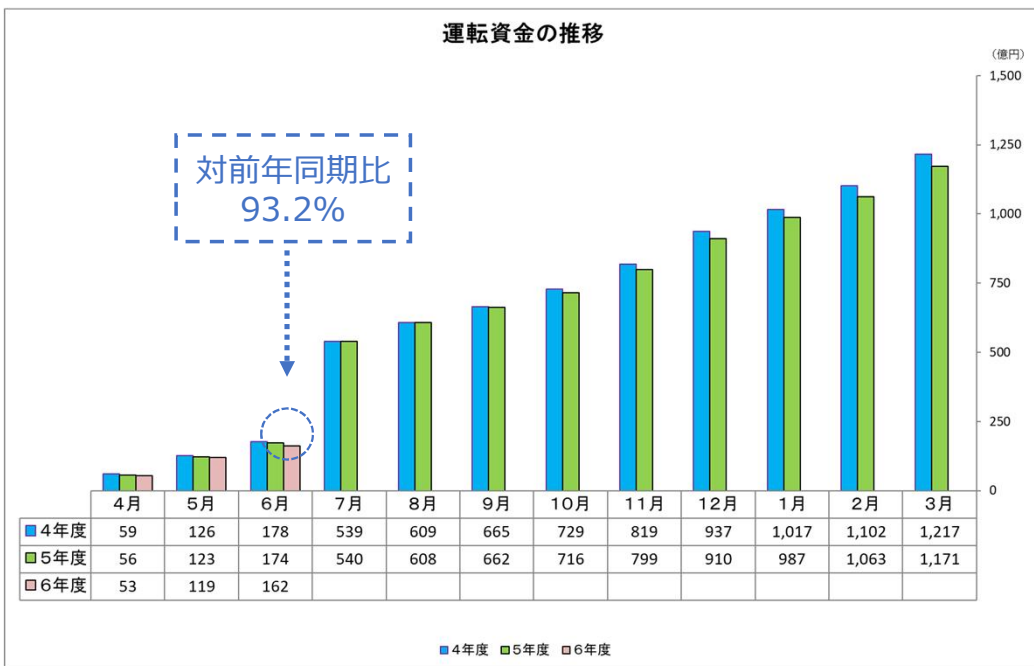
(日本政策金融公庫の農業景況調査（令和4年1月～令和6年1月）を基に信用基金作成)

注1：速報値
 2：単位未満は四捨五入
 ((株)日本政策金融公庫農林水産事業融資実績等を基に信用基金作成)

1-3 農業運転資金の動向

- 運転資金（注1）については、令和5年度は対前年度比96.2%と前年を下回っており、令和6年6月末時点においても対前年同期比93.2%と減少傾向が続いている。
- 公庫のセーフティネット資金については、対前年同期比▲107億円と半減（43.6%）しており、肥料及び飼料等の価格高騰に伴う一時的な減収等に伴う資金繰りニーズは、ある程度解消されつつあると思われる。

運転資金の推移



(信用基金データより)

注1：運転資金は、近代化資金（運転資金）、農業経営改善促進資金、保険料率区分の農業運転資金（プロパー資金）の合計の引受額である。

2：金額は、各年度の累積である。

(参考) (株)日本政策金融公庫農林水産事業の融資実績 (単位：百万円、%)

	令和5年6月		令和6年6月		対前年同期比
	件数	金額	件数	金額	
農業	2,316	74,503	1,847	52,389	70.3
うちセーフティネット資金	773	18,889	374	8,236	43.6

注1：速報値

2：単位未満は四捨五入

((株)日本政策金融公庫農林水産事業融資実績等を基に信用基金作成)

1-4 農家経済安定施設資金

- 農家経済安定施設資金については、当該資金の大宗を占める農業者向けの農家住宅資金の減少の影響により、令和5年度は対前年度比83.0%と大幅に減少しており、令和6年6月末時点においても、対前年同期比82.5%と引き続き減少傾向が続いている。
- また、非農業者に対する全国農協保証センターの再保証引受のうち住宅資金についても、保険引受と同様に、令和5年度は対前年度比89.8%、令和6年6月末時点においても対前年同期比96.1%と減少し続けている。
- 新規住宅着工戸数についても、令和5年度は対前年度比88.5%、令和6年6月末時点においては対前年同期比94.0%と減少し続けており、住宅取得に対する需要が減少していることが、資金需要減少の背景にあると考えられる。

農家経済安定施設資金の引受実績

(単位：百万円、%)

	R1	R2	R3	R4	R5	R5.6	R6.6	(対前年同期比)
農家経済安定施設資金	102,272	82,845	91,719	87,468	72,560	18,999	15,670	82.5
うち農家住宅資金	96,136	77,960	83,985	81,011	67,418	18,256	14,816	81.2

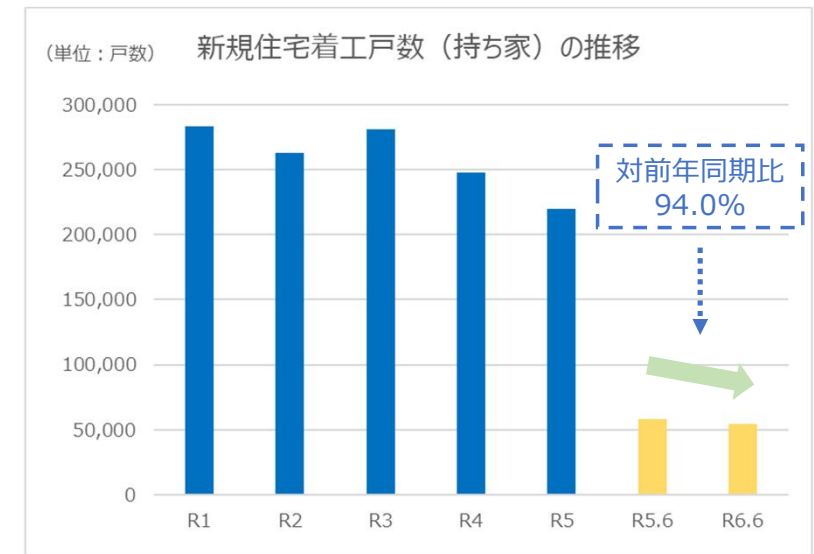
(信用基金データより)

全国農協保証センター新規再保証引受状況

(単位：百万円、%)

	R1	R2	R3	R4	R5	R5.6	R6.6	(対前年同期比)
新規再保証引受合計	699,866	786,561	875,793	784,428	728,721	183,209	176,106	96.1
うち住宅資金	616,613	710,054	806,318	714,659	641,843	163,010	153,671	94.3

(全国農協保証センターデータより)



(建築着工統計調査（国土交通省）を基に信用基金作成)

2. 保険金支払

- 保証保険の保険金支払については、近年減少傾向にあったが、令和5年度に対前年度比で9億円の増加（対前年度比151.2%）に転じて以降、令和6年6月末時点においても対前年同期比107.3%と増加傾向が続いている。
- 事故原因別にみると、「生産資材価格高騰」が減少している一方で、「経営上の負債過多」を理由とした支払は引き続き高水準で推移している。これは、肥料や飼料等の資材価格がやや落ち着いてきた一方で、生産資材価格高騰時やそれ以前に借り入れた負債が、経営に悪影響を与えた農業者が一定数いたものと思われる。

保険金支払の状況

(単位：百万円、%)

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R5.6	R6.6	(対前年同期比)
保証保険計	2,394	2,456	2,001	1,934	1,761	2,663	616	661	107.3

(信用基金データより)

大口保険支払事前協議案件数の状況

	案件数
R3	2件
R4	7件
R5	12件
R5.6	3件
R6.6	3件

(信用基金データより)

事故原因別保険金支払状況の推移

(金額単位：千円、%)

事故原因	令和5年6月保険金支払		令和6年6月保険金支払		金額増減
	金額	割合	金額	割合	
管理不足	64,281	10.4	86,333	13.1	22,052
技術不足	43,055	7.0	40,504	6.1	△ 2,551
経営上の負債過多	198,189	32.2	314,260	47.6	▲ 116,071
生活上の負債過多	987	0.2	37,360	5.7	36,374
資金蓄積不足	2,432	0.4	5,607	0.8	3,175
生産物（製品）価格暴落	2,023	0.3	-	0.0	△ 2,023
生産資材価格高騰	63,536	10.3	18,984	2.9	▲ 44,552
本人の死亡・病気	58,298	9.5	74,286	11.2	15,988
家族の死亡・病気	15,507	2.5	-	0.0	△ 15,507
災害	1,512	0.2	28,673	4.3	27,161
取引先の不振	11,881	1.9	-	0.0	△ 11,881
兼業の不振	-	0.0	2,487	0.4	2,487
失業	12,050	2.0	7,138	1.1	△ 4,912
その他	142,156	23.1	45,112	6.8	△ 97,044
計	615,907	100.0	660,745	100.0	44,838

(信用基金データより)

3. 回収金

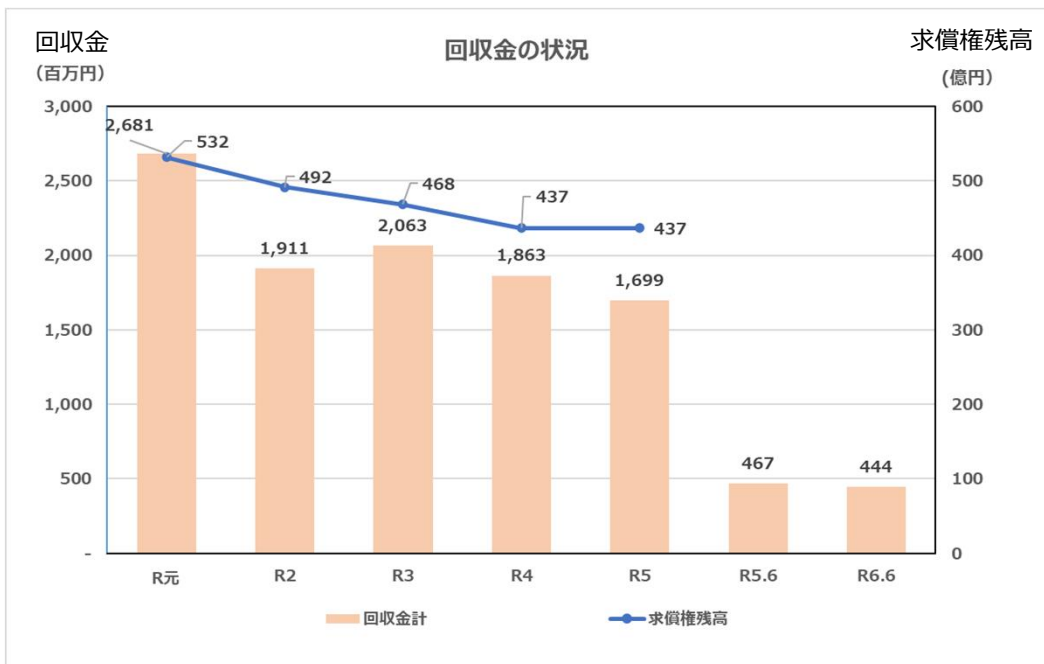
- 保証保険の回収金については、令和5年度は17億円（対前年度比91.2%）、令和6年6月末時点では4億円（対前年同期比95.2%）と減少傾向が続いている。
- 回収金は案件ごとの事情によって年度ごとに増減する性格のものではあるが、近年は保険金支払案件が少なく、回収対象となる求償権残高そのものの減少傾向が続いていることから、今後も大きな増加は見込まれないと考えられる。

回収金の状況

(単位：百万円、%)

区 分	R元	R2	R3	R4	R5	R5.6	R6.6	(対前年同期比)
保 証 保 険 計	2,681	1,911	2,063	1,863	1,699	467	444	95.2

(信用基金データより)



(信用基金データより)

注：令和5年度の求償権残高については、速報値。

求償権残高については、令和元年度末と令和5年度末を比較すると18.0%減少。